

第10回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成18年 1月17日(火)

午後1時30分～3時05分

場所：清浄園 2階 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

(1) 第9回委員会の会議録について

4 議題

(1) 中間報告書(案)について・・・・・・・・・・(別冊)

(2) 委員会要綱改正(案)について・・・・・・・・・・(資料1)

5 その他

6 閉 会

出席委員（14人）

栗田たか子	委員
宮原 則子	委員
上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
若林 政夫	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
木口 憲爾	委員
表 秀孝	委員
川上 清	委員
外山 愷	委員
南波 清吾	委員
柳澤 旨賢	委員
片桐 久	委員

欠席委員（1人）

小山 敏子	委員
-------	----

出席者 事務局（11人）

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原 英隆
上田市役所 廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所 市民課	課長	大村 興敬
丸子町役場 生活課	課長	新井 忠雄
真田町役場 観光商工課	課長補佐兼係長	大久保晴男
武石村役場 建設環境課	課長	掛川 兼司
青木村役場 住民福祉課	課長	中澤知賀雄
長和町役場 町民課	課長	小宮山正幸
上田地域広域連合事務局	事務局長	市村 良夫
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（2人）

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部		
環境施設部	課長	尾葉石 優
環境施設部	主任技師	井土 將博

開会（ 1 時 3 0 分 ）

1 開会

（事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

3 報告事項

（ 1 ）第 9 回会議録の確認について

（委員長）

事前に送付されているが、修正等はよろしいか。

（各委員）

特に変更等の意見なし

（委員長）

前回の委員会で建設候補地の面積についての議論があったが、事務局の説明を求めたい。

（事務局）

前回の委員会で必要な面積について説明不足があり申し訳ありませんでした。

中間報告書（案）の 10 ページの 4 建設可能エリアの選定 1）基本フレームの中で必要な面積として余熱利用施設（地域還元施設）を含めて 40,000㎡程度としています。必要面積の内訳については、全体施設構成の記載のとおりであります。

（委員長）

必要面積については、今後の建設候補地の抽出・絞り込みをする上で明確にしておかなければならないが、事務局の説明についてどうか。

（各委員）

特に質疑なし。

4 議題

（ 1 ）中間報告書（案）について

（委員長）

事務局からの説明の前に修正をお願いしたい。

中間報告書（案）の目次 2 委員会設置 4）住民説明会の経過とあるが、住民報告会の経過に修正をお願いしたい。あと 6 ページの 4）住民説明会の経過も住民報告会に修正していただきたい。

住民説明会という候補地周辺住民への説明会と混同するので、あくまでも資源循環型施設建設候補地選定委員会の選定経過を報告しているのでご了承願いたい。

(事務局)

別冊資料1ページから26ページ (1)中間報告書(案) 1 これまでの経過～6建設可能区域の決定について別冊に基づいて説明する。

(委員長)

事務局からとりあえず第9回委員会までを説明してもらったが、少なくとも事実と反する記載はなかったと思われるが、表現上で何かあれば修正したい。

では、ページが多いので最初から確認していきたい。

はじめにから目次のまでについてはどうか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

1ページから2ページまでとして 1 これまでの経過についてはどうか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

3ページから6ページまでとして 2委員会設置については、委員構成、委員会スケジュール、委員会開催経過、住民報告会はよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

7ページから9ページまでとして 3候補地選定の考えについては、委員会で協議を始める前に候補地選定のフロー、候補地選定の概念図が示されたがどうか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

10ページから20ページまでとして 4建設可能エリアの選定については、先ほど確認した基本フレーム、そのほかに地理情報調査項目、建設除外項目の抽出決定項目、候補エリアの選定方針、候補エリアの選定など委員会で確認して進めてきた内容であるが。

(各委員)
異議なし。

(委員長)
21ページから26ページまでとして5建設可能区域の選定については、建設可能区域の抽出条件、建設可能区域の絞り込み・評価について、中間報告として建設可能区域が10区域に絞り込まれたということであるが

(各委員)
異議なし。

(委員長)
26ページまでについては、委員会の経過報告であるので、文章として表現が妥当であるかどうかであるがよろしいか。

(各委員)
異議なし。

(委員長)
今後どうするかという問題であるが、中間報告に記載して明確にしておきたいと考える。
18年度の作業について事務局の説明を求めたい。

(事務局)
別冊資料27ページ (1)中間報告書(案)7 18年度の予定について別冊に基づいて説明する。

(委員長)
18年度の予定の説明があったが、妥当であると思われる。
地理情報については、建設可能区域10区域から40,000㎡程度となる候補地を抽出するまでと思われ、建設候補地については、候補地周辺の固有な情報などを収集し、評価項目による絞り込みを行う。
次回の委員会まで期間があるので、候補地を抽出する作業は大変時間がかかると思われる。次回委員会(第11回)で建設候補地が抽出されるので、その後、候補地周辺住民の方たちからの意見や固有な情報を寄せていただかないとならないと思われるので、住民参加型の委員会で議論を深めることができるかという課題も考えなければならない。

(委員)

中間報告と今後のスケジュールについては、異論はない。建設可能区域が10区域まで絞り込みがされて、候補地周辺住民の方たちの意見を寄せていただくという委員長から発言があったが、広域連合議会で過去に適地選定されたが白紙撤回された。その後、この資源循環型施設建設候補地選定委員会が設置され、建設候補地の選定が進められてきたが、過去の選定経過についても候補地を評価する項目に追加したらどうか。

(委員長)

過去の適地選定の経過があって、この委員会があるので、まったくこの議論なしで進めることはできないと考える。

白紙撤回された経過について事務局から集約したものを示していただきたい。

(委員)

中間報告書については、これまでの委員会の経過をまとめておく必要があり、広域連合長へ報告後、議会等に報告し、ホームページや広報等で地域住民の方たちにもお知らせする必要があるが、30ページの中間報告に及ぶ資料を読んでもいただけるか疑問であるので、A4用紙1枚か2枚くらいでまとめておく必要があるのではないかと。

(委員長)

次回委員会が5月まで中断するので、上田地域広域連合圏域内の住民の方たちに情報発信しないと関心が薄れてしまうことも予想されるので、わかりやすい情報発信していただきたい。

次に建設候補地の選定について事務局から説明を求めたい。

(事務局)

別冊資料28ページから30ページ (1) 中間報告書(案) 8 建設候補地の選定について別冊に基づいて説明する。

(委員長)

説明があったように評価項目の考え方、具体的な基準を示しているだけである。今後、評価項目ごとの重み付けを変えて評価表を作成したい。議論の中で評価項目に付け加えなければならないことも考えられる。

候補地の評価項目と考え方が示されているということであるがよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(委員長)

広域連合長へ報告する前に、今までの委員会の選定経過の事実を変えることはできないが、表現などの修正はあると思うので、委員長と副委員長で最終的に確認したいが御了承をいただきたい。

(各委員)

異議なし。

(委員)

必要面積のところですが、10ページは20,000~40,000㎡程度、21ページは4ヘクタール以上、28ページは4ヘクタール程度など数字の表現について統一した方が良くはないか。

(委員長)

基本的には必要面積として4ヘクタール程度としておかないと候補地が抽出できないのではないか。

(事務局)

4ヘクタールは分かりにくいので、40,000㎡程度に統一したいと思います。程度と以上の使い分けですが、建設可能区域を抽出する条件として40,000㎡以上としない候補地が抽出できないので以上としてあります。建設候補地の抽出については、柔軟に対応するために程度とさせていただいております。

先ほどの御意見にもありましたが、過去の選定経過については委員会の基本的な確認事項として参考とはするがこれにとらわれないという考え方です。評価項目に追加するかどうかについては、今後ご議論していただければと思います。

あと1枚か2枚にまとめるということですが、表紙の裏にはじめにとありますが、次のページに建設可能区域の決定までの流れとしてフローがありますが、委員会の中間報告としての概要はここにお示ししてありますが、さらに付け加えるものがあればお願いしたいと思います。

(委員長)

住民の方たちに分かりやすく選定の経過をお示しできればいいのではないかと思う。

今後の候補地の抽出・絞り込みについては、住民側から見て情報公開されていると思われる方を委員会でもきめ細かく考えていかなければならない。今までの委員会としての情報公開はまだ不足していたかもしれない。情報公開は、非常に難しいかもしれないが、この委員会は住民参加型の委員会としているので、実行していかなければならない。

(委員)

29ページの評価項目に周辺環境の項目の考え方として、近隣の住宅等の密集度を基準に評価するとあるが、人口が密集している都市部と農村部ではごみの発生量にも違いがあると思うが。

(委員長)

施設が建設されると周辺の住宅への環境の変化についての評価であり、ごみの発生量と運搬距離については省エネルギーの総運搬距離の項目で評価したい。

(委員)

地域によって住宅の密集している所とそうでない所とごみの発生量に違いがあるので、評価項目としているのかということであるが。ごみの発生量が多い所ほど施設との運搬距離が短いほうが良いと思うので、評価項目としているのかということである。

(委員長)

18ページにエリア評価として絞り込みをしているが、今後は、29ページの総運搬距離の項目にあるとおり候補地を字別にごみの発生量を算出して収集車の総運搬距離を評価としたい。

(委員)

議会等へはどのような形で報告されるのか。

(事務局)

中間報告書(案)については、表現などの修正はあるかもしれませんが、委員長と精査させていただき、1月20日の午後2時15分より表委員長から母袋広域連合長へ報告書をお渡しいただく予定です。広域連合議会としては、1月23日に全員協議会がありますので、その中で報告したいと思います。報告方法は、中間報告書を資料としたいと考えております。そのほかに各市町村議会ではありますが、方法について各市町村の廃棄物担当課長と相談していきたいと思いますが、中間報告書を資料としたいと考えております。

先ほどの住民の皆さんへの報告については、中間報告書ではかなり厳しいので、ある程度のダイジェスト版を作成したいと思います。

(委員長)

ほかに御意見はどうか。

それでは、中間報告書(案)を中間報告書として広域連合長へ報告したい。

次の議題に入りたいが、この委員会は今年度末に提言するという目標を持っていたが、来年度の10月ごろとなったので、引き続き委員会を進めていくということになるが、委員会設置要綱の改正について事務局から説明を求めたい。

(2) 委員会設置要綱改正 (案) について

(事務局)

資料 1 ページ (2) 委員会設置要綱改正 (案) について資料 1 に基づいて説明する。

(委員長)

18 年 10 月ごろに提言をまとめることとするが、いくらか余裕をもって 18 年 12 月まで委員の任期する事務局の提案についてどうか。

(委員)

新上田市の市議会議員選挙もあるが、広域連合議会代表の委員の任期はどうなるのか。

(事務局)

委員会設置要綱の第 4 条に補欠委員の任期は、前任者の残任期間とするとありますので、議員が交代された場合は残りの任期となります。

交代された議員さんについては、事務局側から今までの候補地選定経過を十分ご説明させていただきたいと思います。

(委員長)

ほかに御意見はどうか。

(委員)

広域連合議会代表として 5 人が委員としてお世話になっているが、そのうち新上田市関係議員が 4 人いる。市議会議員選挙の結果などにより今後どうなるか分からない。

しかし、10 回という委員会の開催経過を考えれば、慎重に審議を重ねてきて、きわめて重要な役割を担ってきた実感がある。場合によっては、広域連合議員代表の委員が交代することもあるかもしれないが、祈願達成できるようにご期待したい。

(委員長)

ほかに御意見はどうか。

広域連合議会代表の委員については、大変御苦労さまでした。新上田市関係議員のご健闘をお祈り申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

5 その他

特になし。

(委員長)

本日はこれで終了としたい。

(事務局)

長時間慎重審議ありがとうございました。本日の委員会を閉じさせていただきたいと思いますが、審議のとおり第10回委員会をもちまして中間報告ということになります。

今後のスケジュールについてももう一度確認させていただきたいと思います。1月20日に表委員長から母袋広域連合長へ中間報告をしていただき、1月23日には広域連合議会全員協議会を開催させていただきまして、資源循環型施設建設候補地選定委員会の中間報告を報告させていただく予定です。

2月以降の予定ですが、2月中は合併する4市町村議会が予定されておりますので、広域連合議会の委員さんの委員会開催は困難であると思われる。また、3月になりますと新上田市が発足する前日の3月5日に4市町村の首長、市町村議会議員が失職いたします。

3月6日の新上田市発足後、上田市長の職務執行者が選出され、市政が運営されますが、4月2日に市長選・市議選の告示があり、投票日は4月9日になっております。ここで、新市長と新市議会議員が決定され、新上田市の市議会の招集が4月の中旬から下旬に予定されると思いますが、議長をはじめそれぞれの役職が決まると思われます。その中で広域連合議会へ選出していただく議員も決まると思われます。

その後、5月連休以降に広域連合議会の臨時会が招集され、座長、総務・保健福祉委員会正副委員長のそれぞれの役職を決めてもらい、資源循環型施設建設候補地選定委員会の委員に就任していただき、5月に委員会を再開させていただく予定になりますが、よろしく願いいたします。

5月まで委員会は中断いたしますが、事務局では、資料収集等を進めまして、5月の再開時にはスムーズに委員会の審議がされるように態勢を整えておきたいと考えておりますので、よろしく願いしたいと思います。

また、本日まで10回の委員会にご審議していただきました、上田市議会選出の川上議員さん、外山議員さん、南波議員さん、丸子町議会選出の片桐議員さんには、大変お世話になりましたことを御礼申し上げまして閉会のあいさつとさせていただきます。

6 閉会

(事務局)

閉会(3時05分)